

次代を担う産業育成対策特別委員会記録

1 会議の日時	<p style="text-align: center;">開 会    午前10時55分          平成30年3月13日          閉 会    午前11時44分</p>	
2 会議の場所	<p style="text-align: center;">第 4 特 別 委 員 会 室</p>	
3 出席者	委 員	<p>委員長    岩 井 豊太郎    副委員長    佐 藤 武 彦          委員       玉 田 和 浩    渡 辺 嘉 山    水 野 正 敏                       小 原       尚    田 中 勝 士    高 殿       尚                       国 枝 慎太郎    恩 田 佳 幸</p>
	執 行 部	<p style="text-align: center;">別 紙 配 席 図 の と お り</p>
4 事務局職員	<p>主       査    高 口 好 美          主       事    後 藤 有 里 加</p>	

5 会議に付した案件	
件名	審査の結果
1. 中間報告について	原案のとおり承認
2. その他	

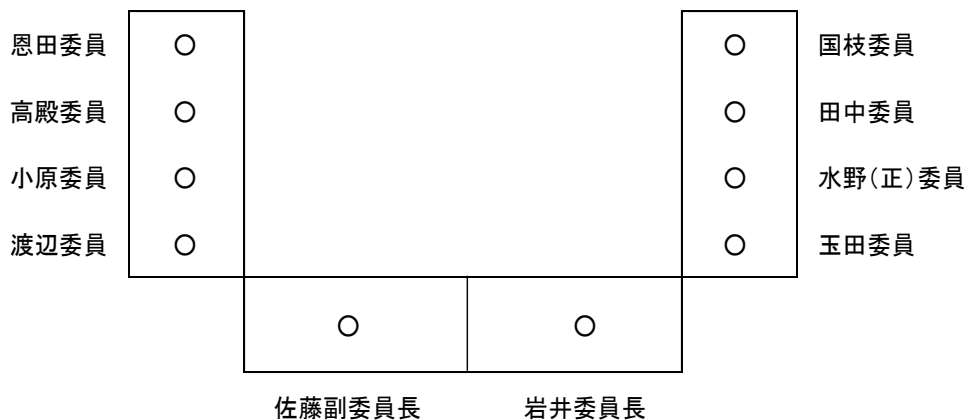
# 次代を担う産業育成対策特別委員会 配席図

平成30年3月13日(火)議案説明会終了後  
第4特別委員会室

	田中 森林経営課 森林経営対策監	尾関 恵みの森づくり推進課長	足立 農業経営課 担い手対策室長					
--	------------------------	-------------------	------------------------	--	--	--	--	--

北岡 学校支援課長	丹羽 林政課長	深谷 農業経営課長	大城戸 労働雇用課長	森 産業人材課長	梅村 産業技術課長	渡辺 新産業・エネルギー 振興課長	郷 航空宇宙産業課 施設整備企画監	杉下 地域産業課長
--------------	------------	--------------	---------------	-------------	--------------	-------------------------	-------------------------	--------------

小島 海外戦略推進課長	堀 観光企画課長	森島 観光国際局副局長	崎浦 観光国際局長	井川 商工労働部長	矢本 商工労働部次長	増田 商工労働部次長(産業人材担当) 兼企業誘致課長	板津 商工政策課長	寺嶋 商業・金融課長
----------------	-------------	----------------	--------------	--------------	---------------	----------------------------------	--------------	---------------



## 6 議事録（要点筆記）

### ○岩井豊太郎委員長

ただいまから、次代を担う産業育成対策特別委員会を開会する。本日は、当委員会の「中間報告」について協議するために、開催したものである。それでは、中間報告について協議願う。文案については、あらかじめ準備し、お手元に配布してあるため、書記に朗読させる。

（ 書記 朗読 ）

### ○岩井豊太郎委員長

ただいまの中間報告案に対して、意見はあるか。

### ○佐藤武彦副委員長

中間報告案に「数十年後のA Iの台頭を見据え」とあるが、A Iは既に目前まで来ており、「数十年後」ではなく、「今後」と修正したほうがよいのではないか。

### ○岩井豊太郎委員長

意見も尽きたようなので、中間報告については、「数十年後」を「今後」と修正し、決定することに異議はあるか。

（ 「異議なし」の声あり ）

### ○岩井豊太郎委員長

それでは、このように決定する。次に各委員より1年間の感想をお聞きする。

### ○渡辺嘉山委員

今年度の視察で訪れた愛知県立愛知総合工科高等学校のような、新たな方向性を見据えた高校が岐阜県内にもあるとよい。

### ○小原尚委員

この委員会では航空宇宙産業や地場産業についての調査を行ってきたが、例えば、岐阜県の航空宇宙産業は、県内に過去から技術があったため、現在のような発展があるという、産業の流れについて、勉強することができてよかった。

### ○高殿尚委員

人づくりがモノづくりであり、また、モノづくりのため人づくりが重要である。また、作ったモノを売るのでなく、売れるモノを作ることが大事であると感じた。

県外視察を通じ、廃れてしまった産業も、ブランド力を磨き直すことで、地域産業の発展や町自体の再生につなげている事例もわかった。そのため、即戦力としての数や質も大事だが、地域の産業につながる教育が大事であると痛感した。

### ○恩田佳幸委員

少量多品種の手作業による製造などは、今後も生き残ることのできる分野であり、この分野における人材確保、育成や熟練技能者の継承に力を入れて欲しい。

自社で先進的な機材の導入ができない企業が、国や県の補助を活用できる流れがつかれるとよいと思

う。

○国枝慎太郎委員

愛知県立愛知総合工科高等学校を視察して、技術だけでなく、先端の議論や教育も必要と感じた。例えば揖斐高校をそのような高校にする、古民家を活用した全寮制高校の創設など、横断的な取り組みも検討してもらいたい。

○田中勝士委員

今年度のような、関係者を招致して話を聞いて産業状況を調査した後に、その関連施設に視察へ行くという流れは有意義な視察につながりよかった。また、県外視察は遠方が視察先となることが多いが、愛知県など本県とのかかわりのある近隣県への視察をしっかりとやらなければならないと感じた。

県の試験研究機関は早いサイクルで機器が更新されており、まめに視察をしないと、乗りおけてしまうため、来年度の視察先として取り入れてもらえると良い。

○水野正敏委員

県試験研究機関の果たす役割や企業のニーズに対応できているか等について、もう一度勉強しなければならぬと感じた。

○玉田和浩委員

県内には中小企業が多く、よいモノを作っているが、販売がうまくできていない。我々も県内をもっと細かく見るべきだが、県も自身が販売するくらい力を入れて取り組んで欲しい。

○佐藤武彦副委員長

海外廉価品との価格競争が激化しており、また人口流出の問題もあり、現在は人づくりが重要となっている。国の方でも人づくりと生産性向上と言われているが、生産性向上とは、効率を上げることよりも、どこにもないモノを高く売ることが重要と思う。

成長産業にはお金がかかるため、県がしっかりと応援して欲しい。

○岩井豊太郎委員長

今年度の委員会では視察を重視し、先進的な産業と地場産業の両方を視察したが、よい視察ができたと思う。来年度も続けていきたいので、よろしく願いしたい。

つぎに、その他報告として、岐阜県地方産業教育審議会における審議状況について執行部の報告を求める。

( 執行部報告 )

○岩井豊太郎委員長

ただ今の報告に関して、意見等あるか。

○田中勝士委員

金型コンテストの開催費用はどこが負担するのか。具体的にどのぐらいの開催費用がかかり、県からの助成はいくらか。

○北岡学校支援課長

金型工業組合が開催している。詳細な開催費は承知していないが、県としては、会場として国際たくみアカデミーを使っただけなど、協力させていただいている。

○田中勝士委員

岐阜県地方産業教育審議会の審議において、「県と企業と高校が協力して」、また「知事部局と教育委員会が連携を深めて」との意見が出されているが、業界が積極的に協力していく部分には、助成にてしっかり対応する、また、教育委員会で難しいところは、商工と連携するなど工夫して対応していただきたい。

○水野正敏委員

当該審議会の委員に土木・建設業関係者は含まれないのか。

○北岡学校支援課長

委員の人数は条例で12名と決められている。現委員には、土木等関係者は含まれていないが、土木業界から要望等を伺えるように、建設業界の人材育成協議会に出席し、要望を承り施策に反映している。

○水野正敏委員

土木・建設分野の人材も深刻な状況であると言われているため、当該分野の意見も反映される仕組みにしてもらいたい。

○北岡学校支援課長

来年度以降は、地域産業の特色や人材ニーズを踏まえた専門教育のあり方を協議していく場を地区ごとに設けていくことにしている。各地区の各業界の方にも参画いただくことで、どのような人材、ニーズが必要かを含めて意見を賜り、今後の専門高校のあり方を考える場を設けていき反映していきたい。

○玉田和浩委員

当該審議会は従前から活動しているのか。

○北岡学校支援課長

16年前まで活動していたが、そこから、16年間休止状態であった。

○玉田和浩委員

こちらが言って、ようやく審議会を再開した。この審議会は大事である。

○高殿尚委員

今回、2月議会の一般質問で国枝議員が質問したが、県立高校の県外枠として、高山工業高校建築インテリア科、多治見工業高校セラミック科などを募集したが、募集枠64人中1人しか応募がなかった。来年度以降の募集の際には、産業界からのニーズの反映やベテラン外部講師の派遣などのメニュー提示などにより、県外枠制度を生かした地元に残る仕組みをつくっていただきたい。

○国枝慎太郎委員

県ではIoT、AIが必要と言っているが、委員として情報関係の専門家が入っていない。また、外からの視点も取り入れるため、県外の委員も含めてはどうか。

○北岡学校支援課長

審議会の委員の人数に限りがあり、全ての業種を網羅することはできていない。情報に関しては、岐阜女子大学文化総合学部教授の服部委員が情報教育の知見をお持ちである。

○小原尚委員

委員の人数が決まっているため、必要な委員を選定できないというのはおかしい。規約を変更しても

らい意見を聞けるようにしてもらいたい。

○北岡学校支援課長

御意見として承り、議論させていただきたい。条例で委員の定数が決められているものであり、変更する場合には、議会等の御意見をいただきながら検討していきたい。

○岩井豊太郎委員長

今の意見を是非参考とし、他の分野の方も委員に加えられるよう人数変更を提案すること。  
本日の議題は終了したが、この際、他に何か御意見等あるか。

(発言する者なし)

○岩井豊太郎委員長

意見も尽きたようなので、これをもって、本日の委員会を閉会する。

次代を担う産業育成対策特別委員会  
委員長